

入試広報課 重点目標 『令和3年度 総合評価』（提出用）

入試広報課の重点目標：『つながりを深める媒体となる』

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	『コロナ禍』での2年目の業務となった。昨年度と異なるのは、制約がかなり緩和され生徒の活動が大幅に復活したことである。関東大会・高校総体、硬式野球部の活躍、それに加えて文科系の部活・同好会の躍進も目覚ましく、記事の本数が一昨年度を上まわった。春の遠足、夏の語学研修など一部再開できない行事がある中で本校生徒の健闘であった。	新着情報発信本数の4月から1月までの比較は、R01は80本(100%)、R02は54本(67.5%)。R03は89本(111%)。

入試広報課の方針

上記の役割を十分に果たしその目標を具体化するため、以下の項目に重点を置き、今年度の業務に取り組む。

① 正確な情報収集と迅速な発信

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	ホームページコンテンツ内の文章の確認・校正(部活動等は除く)を年度初めに行った。また、年間行事予定表の更新(6回)、新着情報での学校行事紹介記事など、適時にホームページ上に掲載し、情報を迅速に発信することが出来た。	学校行事関係の記事では、9割以上は当日掲載することが出来た。

② 入試広報課内の連携と役割分担の徹底

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	役割分担はよく機能し、円滑に業務を進めることが出来た。課会を開き、入試広報課が災害時に果たすべき役割について検討した。活発な意見交換があり、実用的な発案が複数提示された。今後活かしていきたい。	『災害時の取決め』、『災害伝言板』の完成は急務である。

③ 各ハウス、各部署、生徒会及び部活動顧問との密な連絡

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
2	生徒の活動実績や進路関係の説明会など、情報が伝えられる限りは記事の掲載に努めた。運動部の戦績や記録は公式のものとして把握しやすいが、文化部の発表会等は追い切れない面がある。かねてから抱え続けている課題である。	毎年の様に「この生徒は去年賞を取って…」という情報を後から聞かされるケースがある。